

		チェック項目	事業所より
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	定員に対しての基準は、満たしています。 支援内容に合わせて、生活介護のスペースや食堂を工夫して、使用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	基準に満たしています。 職員の配置数は適切です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	施設内全体がバリアフリーになっている為、移動はスムーズになっています。 玄関、非常口のスロープは改善を行いました。 その他の改善が必要な所は、随時検討していく予定です。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	平成30年6月に「PDCA」サイクルの研修会を行い、日々の業務改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	評価表を活用し、引き続き、業務改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者委員の検討をしていきます。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部の研修に積極的に参加し、伝達研修を行っています。 更に職員の質の向上のために、職場内研修をより多く行っていきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	定期的にモニタリングを行い、ニーズに反映させ計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントを適宜更新し、更に質の高い計画書を作成していきます。

## 適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	チーム全体として立案を行っています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	体を使う活動、指先を使う活動、自然と触れ合う活動、買い物学習等を取り入れ固定化しないよう活動内容を工夫しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決めて支援しています。今後も細やかに設定し支援していきます。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービスを計画を作成しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	時間を作りリーダーを中心に、その日の支援内容や役割分担について確認していきます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	日誌や記録を通して振り返りを行い共有しているが今後は打ち合わせの時間も作り行っていきます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底して、支援の検証・改善につなげているか	今までよりもさらに細かく記録をとり、よりよい支援に繋げていきます。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的にモニタリングを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせて支援を行っているか	今後もさらにガイドラインを読み込みながら支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	主に児童発達管理責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	情報共有や連絡調整は行っています。今後、児童の支援目標、支援内容などの情報共有ができるように努めていきます。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	主治医からの指示書もらっています。また、看護師が常勤していて必要に応じて医療的ケアを行っています。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保育所等と情報交換を行う機会はないが、保護者や相談員を通して情報を収集しています。

## 関係機関や保護者と

の連携 関係機関 や保護者 との連携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	事業所内での移行の場合はできているが、他事業所の場合は情報を求められることがあれば情報提供の協力をしていきます。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	調整しましたが、実現は困難でした。今後も、前向きに検討していきます。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	児童会館、公園等に行きふれあう機会を多く設けています。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか	児童支援部会にて医療的ケア児の支援会議に参加しました。今後も積極的に参加していきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	今後も連絡帳や送迎時にその日の状況を伝え共通理解に努めます。
	②⑨	保護者の対応の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニング等の研修会に参加し学びながら、保護者の方の支援に努めていきます。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に丁寧に説明を行っています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者からの話をよく聞き、適切な助言と支援に努めています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会、保護者会が発足された場合は、事業所として支援、協力していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ホームページで活動の様子を発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	今後も十分気を付けていきます。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	今後も文章にルビを付けたり視覚支援を行い意思疎通を図っていきます。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域との交流を図れるように努めていきます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	ホームページに掲載しお知らせしていきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的実施し報告していきます。

## 非常時の対応

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	今後も引き続き支援会議を多く設け支援の質を高めると共に職員の研修の機会を確保していきます。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束を行う場合は組織的に決定しその上で保護者に了解を得て支援計画に記載します。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者から契約時に情報を得ています。必要に応じて医師の指示書もお願いしていきます。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集を作成し、対応検討会も開き再発防止に努めています。